



いぐらし Figurashi

学校法人国際共立学園 学園報

Vol.9

2025.03

CONTENTS

02-03 | 特集・美翔祭トータルヘアショー

04-05 | 特集・匠すとVol.20

06-07 | KOKUSAI NEWS

08-09 | 海外研修レポート
70周年記念大同窓会のお知らせ

10-11 | 後援会だより/育友会だより
校友会(KBF)だより

写真:美翔祭トータルヘアショー美容科モデル

美翔祭ヘアショーを終えて



実行委員長(写真右): ビューティアーティスト科2年 種山 海藍さん
副実行委員長(写真左): ビューティアーティスト科2年 樫村 翠さん
担当教員(写真中央): 高橋 みつ子先生

編集部 今年度の美翔祭ヘアショーのテーマは『Attractive(魅力的)』でしたが、このテーマに込めた想いを聞かせてください。

高橋先生 今年度のテーマである「Attractive」には、私たちが創り上げる「魅力的」と作品を作る自分たちが持っている「魅力的」と二つの意味が込められています。

編集部 テーマを聞いた時、実行委員のお二人はどう感じましたか？

種山さん 人によって「魅力的」の解釈が違うので、表現することが難しいと私は思いました。でも創ってみたい楽しそうだなとも思いました。

樫村さん 私も最初は難しいなと感じました。色々な解釈があるテーマだからこそ、わかりやすくなりすぎてもわかりにくくなりすぎてもダメだと思って、各チームのメンバーに基準を合わせるのが特に大変でした。

編集部 お二人が実行委員になった理由は？

種山さん 私が実行委員になりたかったのは、ショーや舞台の裏方がどのようになっているのかを知りたかったからです。あとは美翔祭ヘアショーを今までよりもよいものにするためには、実行委員が一番近い場所だと感じました。

樫村さん ヘアメイク現場の仕事もやりたいという意思がないと行けないのですが、実際に行ってみてやってみないと知ることができないことがあり、KOKUSAIで一番大きなイベントでもある美翔祭の実行委員をやることで得られるものは大きいのではないかと感じて立候補しました。

編集部 ヘアショーを創り上げていくことで一番大変だったことは何ですか？

種山さん 一番大変だったのは、実行委員とクラスの役割の両立です。クラスの取りまとめとヘアメイクもやり、ショー全体のまとめもあり……。でもそのおかげで、自分のキャパが広がったと思います。大きな組織をまとめるためには人の力も借りなければいけないので、メンバーにも助けられました。

樫村さん 実行委員が大変だったというよりも、実行委員をやることで自分たちの学科の方が大変になったというのが大きいです(笑)あとはメンバーへの指示の伝え方と協調性を取っていくのが難しいと感じました。

編集部 今年のヘアショーは例年と比べて趣向がガラッと変わった気がしたのですが、狙いはどこにあったのですか？

高橋先生 今年は演出で魅せるというよりも、技術の部分にどれだけ力を入れられるかというところにフォーカスした結果だと思います。ファッションではなく、自分たちのフィールドであるヘアとかメイクのクオリティを上げたいと思って創り上げました。

編集部 ヘアショーを終えてみて「もっとこうだった」などはありますか？

樫村さん 実行委員としての反省点は、各担当の役割をもっと明確にしたら、当日の運営がスムーズにできたと思います。ショー全体の反省点としては、「魅力的」というテーマに対してもっと深く突き詰めて表現できたら良かったと思いました。

種山さん テーマに対してもっと全科で合わせられたら良かったと思います。テーマと合わせて「できるだけシンプルに」というコンセプトもあったのですが、それぞれの科によって解釈も違ってくるので、それを実行委員としてもう少し統一感ができるようにコントロールできれば、ショーとしてのクオリティももっと上がったのではないかと思います。

編集部 実行委員を通して学んだことは何かありますか？

樫村さん 多くの人が集まって一つのものを創り上げる時には、お互いの意見がぶつかってしまうことが多いので、両方が納得する妥協点を見つけることが大事なんだなと思いました。また自分がその間に入って両方の意見をまとめることが割と得意な方だということにも気づきました。社会に出てからもあることだと思うので、学生時代に経験できたことは大きかったです。

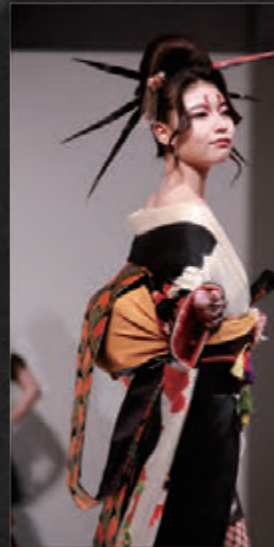
種山さん 私は人を頼れるようになりました。以前は自分で抱えすぎてしまうところがあったので、今回の実行委員ではそうせざるを得ない部分もあったのですが、あえて意識して頼るようにしました。伝え方もできるだけ上からにならないように、少しは言葉を考えて話せるようになったと思います。

編集部 この二人が実行委員で助かったこと、二人の成長はどう感じましたか？

高橋先生 実行委員のメンバー内で方向性がズレた時にしっかりと軌道修正してくれたことが大きかったです。特に今年のメンバーは最後までダレることなくしっかりやってくれたと思います。やっぱり最初と最後ではしっかり成長したと思います！

編集部 最後に、もう一度実行委員をやれるとしたらやりたいですか？

種山さん
樫村さん 絶対やりたいです!(笑)



【各部門優勝者紹介】

※ 記載の学年は開催当時のものです。



〔匠すと杯トータルコーディネートクリエイティブスタイル部門〕
グランドチャンピオン
高等専修 / 美容師科 3 年
柴海 南奈美さん 戸高 梨子さん



〔匠すと杯トータルコーディネートサロンスタイル部門〕
グランドチャンピオン
美容科 2 年
長島 愛美さん



〔ヘア・デッサン画部門〕
優勝
ビューティアーティスト科 1 年
池田 結理さん



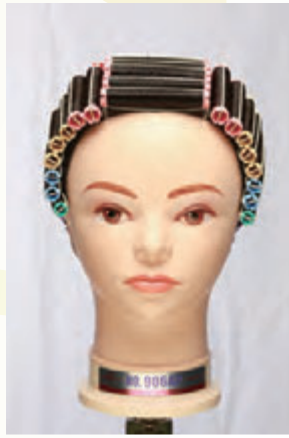
〔フォト部門〕
優勝
ビューティアーティスト科 1 年
橋本 あゆみさん



〔セット・ブロースタイリング部門〕
優勝
美容科 2 年
正路 彩夏さん



〔デザインの読み解き部門〕
優勝
理容科 1 年
生盛 一郎さん



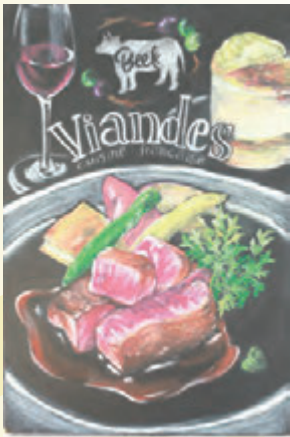
〔ワインディング部門〕
優勝
高等専修 / 美容師科 3 年
高橋 和希さん

匠すと - Vol.20 -

令和6年12月16日、5年ぶりにサンパール荒川にて学園技術コンクール「匠すと vol.20」が開催されました。
エステ種目は3号館、製菓調理種目は高等専修学校の校舎を使用しましたが、表彰式の際は577名の学生生徒がサンパール荒川に集まりました。
20回目の記念大会となる今大会では、新種目も追加され大変盛り上がる大会となりました。匠すと杯クリエイティブスタイル部門の、美容師科3年柴海 南奈美さんと戸高 梨子さんのペアは中学校時代からの同級生で、深い絆と培ったスキルで優勝を勝ち取りました。また今年度も在学中に活躍した卒業生に大会審査に加わっていただき、審査に参加した卒業生たちは「学生時代の全国大会や匠すとの思い出がよみがえり、自分もまたコンテストにチャレンジしたくなった。」「vol.20のコンテストの様子を見て、今っぱい競技部門もあり匠すとの進化に驚いた。」と感想をいただきました。次年度はvol.30に向けて、さらに進化した大会になることでしょう。



〔ブライダルヘアメイク部門〕
優勝
ビューティアーティスト科 2 年
柳生 菜那さん



〔黒板アート部門〕
優勝
高等専修 / 製菓衛生師・調理師科 3 年
大久保 和奏さん



〔総合調理部門〕
優勝
製菓衛生師・調理師科 3 年
寺沢 紇希さん



〔ネイルアート部門〕
優勝
ビューティアーティスト科 1 年
牧島 和さん



〔マジパン部門〕
優勝
高等専修 / 製菓衛生師・調理師科 3 年
櫻井 ひろ美さん

入賞者一覧 ※ 記載の学年は開催当時のものです。

〔匠すと杯トータルコーディネートクリエイティブスタイル部門〕	
準優勝	美容科 2 年 斉藤 希歩さん
第三位	高等専修 / 美容師科 3 年 名執 朋夏さん
	高等専修 / 美容師科 3 年 廣江 もみじさん
荒川区長賞	高等専修 / 美容師科 3 年 柴海 南奈美さん
	高等専修 / 美容師科 3 年 戸高 梨子さん
IZANAGI 賞	高等専修 / 美容師科 3 年 柴海 南奈美さん
	高等専修 / 美容師科 3 年 戸高 梨子さん
KBF 会長賞	高等専修 / 美容師科 1 年 松崎 響さん

〔フェイシャル・ボディトリートメント部門〕	
優勝	ビジネス美容科 2 年 橋本 かなさん
準優勝	ビジネス美容科 2 年 ララック 梨彩さん
第三位	ビジネス美容科 1 年 間宮 未彩姫さん
KBF 賞	ビジネス美容科 2 年 大塚 鈴音さん
エステティックジャーナル賞	ビジネス美容科 2 年 一ノ瀬 潮美さん

〔ネイルケアカラー部門〕	
優勝	ビューティアーティスト科 2 年 太田 睦乃さん
準優勝	ビューティアーティスト科 1 年 小幡 友彩さん
第三位	ビューティアーティスト科 2 年 小野澤 紗智さん
KBF 賞	ビューティアーティスト科 1 年 黄 世繪さん
敢闘賞	ビューティアーティスト科 1 年 星 希乃歌さん
	ビューティアーティスト科 1 年 押江 咲耶さん
	ビューティアーティスト科 1 年 大沼 七海さん

〔ワインディング部門〕	
準優勝	美容科 1 年 杉山 翔太さん
第三位	美容科 1 年 高橋 諒成さん
KBF 賞	高等専修 / 美容師科 2 年 澤田 柚希さん
敢闘賞	美容科 2 年 布施 舞華さん
	美容科 1 年 清田 渉さん
	美容科 2 年 高杉 海斗さん

〔デザインの読み解き部門〕	
準優勝	美容科 2 年 柳澤 快斗さん
第三位	美容科 1 年 滝本 愛斗さん
KBF 賞	美容科 2 年 佐藤 正輝さん
Men's PREPPY 賞	理容科 1 年 生盛 一郎さん

〔ヘアデッサン画部門〕	
準優勝	ビューティアーティスト科 1 年 星 希乃歌さん
第三位	ビューティアーティスト科 1 年 橋本 あゆみさん
KBF 賞	ビューティアーティスト科 1 年 畑中 綾乃さん
理美容教育出版社賞	ビューティアーティスト科 1 年 黄 世繪さん

〔マジパン部門〕	
準優勝	高等専修 / 製菓衛生師・調理師科 3 年 寺沢 紇希さん
第三位	高等専修 / 製菓衛生師・調理師科 3 年 徳田 風沙さん
KBF 賞	高等専修 / 製菓衛生師・調理師科 3 年 高井 真輝さん
専門学校新聞社賞	高等専修 / 製菓衛生師・調理師科 3 年 川井 月那さん

〔匠すと杯トータルコーディネートサロンスタイル部門〕	
準優勝	美容科 2 年 木下 花南さん
第三位	美容科 2 年 伊藤 耀子さん
	美容科 2 年 成嶋 秀晟さん
荒川区長賞	美容科 2 年 長島 愛美さん
新美容出版社賞	美容科 2 年 長島 愛美さん
KBF 会長賞	美容科 2 年 伊藤 耀子さん
	美容科 2 年 成嶋 秀晟さん

〔ブライダルヘアメイク部門〕	
準優勝	ビューティアーティスト科 2 年 間山 美鈴さん
第三位	ビューティアーティスト科 1 年 大竹 優愛さん
KBF 賞	美容科 2 年 山下 璃乃さん
理美容ニュース賞	ビューティアーティスト科 1 年 森田 梨音さん
敢闘賞	美容科 1 年 金田 怜奈さん
	ビューティアーティスト科 2 年 加藤 真衣さん

〔ネイルアート部門〕	
準優勝	ビューティアーティスト科 1 年 大竹 優愛さん
第三位	ビューティアーティスト科 1 年 勝又 姫奈さん
KBF 賞	美容科 2 年 根本 果鈴さん

〔セット・ブロースタイリング部門〕	
準優勝	理容科 2 年 小島 悠さん
第三位	美容科 1 年 野村 光里さん
KBF 賞	理容科 2 年 平井 智基さん
Snip Style 賞	理容科 2 年 小島 悠さん
敢闘賞	理容科 1 年 和氣 怜央さん
	美容科 1 年 阿部 ののかさん
	理容科 1 年 浅香 慧さん

〔フォト部門〕	
準優勝	美容科 2 年 畠山 来夢さん
第三位	高等専修 / 美容師科 2 年 矢吹 心さん
KBF 賞	ビューティアーティスト科 2 年 原田 真子さん
髪書房賞	美容科 2 年 畠山 来夢さん
敢闘賞	高等専修 / 美容師科 1 年 笹嶋 海青さん
	ビューティアーティスト科 1 年 野田 心菜さん
	美容科 1 年 鈴木 紅葉さん

〔黒板アート部門〕	
準優勝	高等専修 / 製菓衛生師・調理師科 3 年 中荻 羽菜さん
第三位	高等専修 / 製菓衛生師・調理師科 3 年 伊藤 栞奈さん
KBF 賞	高等専修 / 製菓衛生師・調理師科 3 年 石津 永恵さん

〔総合調理部門〕	
準優勝	高等専修 / 製菓衛生師・調理師科 3 年 櫻井 ひろ美さん
第三位	高等専修 / 製菓衛生師・調理師科 3 年 石津 永恵さん
KBF 賞	高等専修 / 製菓衛生師・調理師科 3 年 徳田 風沙さん
世界の菓子 PCG 賞	高等専修 / 製菓衛生師・調理師科 3 年 寺沢 紇希さん
敢闘賞	高等専修 / 製菓衛生師・調理師科 3 年 伊藤 栞奈さん
	高等専修 / 製菓衛生師・調理師科 3 年 大久保 和奏さん

各種コンテストで大活躍!(国際理容美容専門学校/国際共立学園高等専修学校)

KOKUSAIの学生生徒が様々なコンテストで頑張っています!
今年度参加したコンテストの入賞者を紹介します。

学生技術大会(令和6年9月5日開催)

- 【理容ワインディング部門】

敢闘賞 理容科2年 古谷 礼子さん

【美容ワインディング部門】

敢闘賞 高等専修美容師科2年 澤田 柚希さん

敢闘賞 美容科2年 伊藤 耀子さん

【美容カット<グラデーションポップ>部門】

敢闘賞 美容科2年 成嶋 秀晟さん

※優秀賞の2名は全国大会出場。
- 【まつ毛エクステンション部門】

優秀賞 ビューティアーティスト科2年 佐藤 明里さん

敢闘賞 ビューティアーティスト科2年 星野 桜夢さん

【ネイルアート部門】

敢闘賞 ビューティアーティスト科2年 辻 昌友子さん

敢闘賞 ビューティアーティスト科1年 牧島 和さん

【ヘアデザイン部門】

優秀賞 高等専修美容師科2年 下田 愛莉さん

敢闘賞 ビューティアーティスト科1年 水野 せいよさん

敢闘賞 ビューティアーティスト科1年 星 希々歌さん



第41回H.S.A GRAND FESTIVAL(令和6年9月30日開催)

- 【ワインディング美容B】

敢闘賞 美容科1年 杉山 翔大さん

【ワインディング美容C】

敢闘賞 美容科1年 高橋 諒成さん

【ワインディング美容D】

第2位 美容科2年 伊藤 耀子さん

【ワインディング理容】

敢闘賞 理容科2年 古谷礼子さん
- 【ジオメトリック】

第3位 美容科2年 成嶋 秀晟さん

【Jr.メンズスタイル(マネキン)】

第3位 理容科1年 和氣 怜央さん

敢闘賞 理容科1年 荒木 太陽さん

敢闘賞 理容科1年 長井 颯希さん

【フェードフリースタイル部門】

第2位+特別審査員賞(ネモトヒデアキ賞、オオタワラユウキ賞)

理容科2年 野末一蔵さん



第86回I.B.A Japan Cup ヘアコンテスト(令和6年11月25日開催)

- 【ロッドワインディングA】
- 4位敢闘賞 美容科2年 布施 舞華さん
- 【ロッドワインディングC】
- 3位 美容科2年 伊藤 耀子さん
- 7位敢闘賞 美容科1年 高橋 諒成さん
- 【ロッドワインディングメンズ】
- 2位 理容科2年 古谷 礼子さん
- 3位 理容科1年 野崎 琴羽さん
- 【グラデーションポップ】
- 5位敢闘賞 美容科2年 成嶋 秀晟さん
- 【3Dフリースタイル】
- 2位 理容科2年 小島 悠さん
- 4位敢闘賞 理容科1年 門林 藍さん
- 6位敢闘賞 理容科1年 長井 美月さん



全国美容週間マスタースカップ2024
(令和6年11月26日開催)

- 【ワインディング】
- 優秀賞 美容科1年 杉山 翔大さん

製菓衛生師・調理師科の櫻井さんがグルメピック東京代表に選ばれました!
(国際共立学園高等専修学校)

昨年度から製菓衛生師・調理師科が挑戦しているグルメピック。選手は日本・西洋・中国料理部門のいずれかにエントリーし、校内予選を経て地区大会を通過した者が全国大会へ出場できます。今年度の大会では西洋料理部門で製菓衛生師・調理師科3年生の櫻井ひろ美さんが本校代表として地区大会に出場しました。11月の本番に向けて、放課後コツコツと練習を積み重ねた結果が報われ、地区大会で2位となり、東京代表の座を掴むことができました。これまで国際共立学園高等専修学校からの東京代表としての選出はなく、大きな期待を背負って2月に行われる全国大会に出場します。



[写真:全国大会へ挑む櫻井さん]

餅つき大会で食文化を体験しました(国際共立学園高等専修学校)

令和7年1月10日、製菓衛生師・調理師科では日本の食文化を学ぶ授業の一環で餅つき大会を行いました。餅をついたことがない生徒も多く、杵・臼の取り扱い方や餅つきの動作確認など教職員が見本を見せながら、大きな掛け声とともにおいしいお餅を作りました。寒空の下、温かい雑煮とへびシュー(へびの形のシュークリーム)を食べ、今年一年、粘り強く頑張ろうと誓いました。



[写真:へびシューと餅つきの様子]

六華祭を開催!(国際共立学園高等専修学校)

令和6年10月5日・6日に校舎にて学園祭「六華祭」が行われました。今年度のグランドテーマである“attractive(魅力的な)”に合わせ、両科ともに科の魅力を打ち出せるようなブース運営を行いました。美容師科はプチヘアショー、シャンプー、ネイル、ヘアアレンジなど、美容技術を体験できるサロン運営、製菓衛生師調理師科はカフェ、調理体験、パン・焼き菓子販売、フードコート運営を行いました。各科の先輩たちがリーダーシップを発揮して、来校されたお客様の満足度を上げられるよう努力をしていました。来場者数はご家族、ご友人、近隣の方、学校関係者と、2日間でのべ800名ほどの方が来校し、学園祭を楽しんでおりました。



[写真:美容師科の様子]



[写真:製菓衛生師・調理師科の様子]

校内スポーツ大会を開催(国際共立学園高等専修学校)

令和6年9月6日に赤羽体育館にて高等専修学校校内スポーツ大会が行われました。学科試験も終わり気持ちも体もリフレッシュしたい時期だったのか、生徒たちは朝からテンションが高く、保護者からの応援もあり会場は大賑わいでした。3年生が開会宣言を行い、種目はバスケ、ドッジボール、綱引き、借り物競争、リレーと学年対抗戦で行われました。クラスハチマキを巻き各競技で力を出し合って優勝を目指しました。今年度の栄えある総合優勝は2年生でした。今年は生徒・教員ともにケガもなく無事終えることができました。

[写真:大会の様子]



製菓衛生師・調理師科、毎年恒例クリスマス販売(国際共立学園高等専修学校)

令和6年12月24日、製菓衛生師・調理師科の恒例行事であるクリスマス販売会が行われました。学園在校生・教職員を対象に、クリスマス料理3種・ケーキ4種の制作・販売を行いました。10月から3年生がメニュー考案を始めて、その後1、2年生に作業分担と製造工程を落とし込み、販売前日・当日ですべての注文品を制作する一大イベントです。日頃学んだ技術を発揮し、合計600食を受注販売しました。また今年はケーキを荒川区の施設の子供たちにプレゼントすることができ、子供たちにも大変喜ばれました。



[写真:作業の様子]

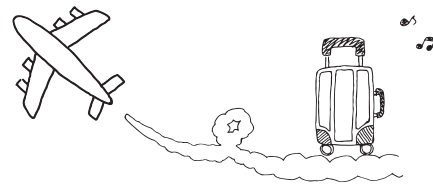
全国専門学校卓球大会出場!(国際共立学園高等専修学校)

令和6年12月3日・4日に、駒沢オリンピック公園屋内球技場で第40回全国専門学校卓球大会が行われました。KOKUSAI卓球部から男女5名の選手が専門課程の選手を相手に戦ってきました。高等専修学校の全国大会では常勝軍団ではありますが、今大会の対戦相手は高校の部活で鍛え上げられてきた年上選手ばかりと、今までになくプレッシャーのかかる大会でした。しかし、我が校の実力は本物!今大会では製菓衛生師・調理師科3年生の伊藤葉奈さん、徳田風沙さん、1年生の福島希華さん、美容師科1年生の吉井莉奈さんの4名が女子団体3位に入賞しました。おめでとうございます!



[写真:入賞者]

海外研修報告



【研修スケジュール】

成田発 LA到着後観光
(サンタモニカ)

研修① MUD(メイク)

研修② フラートン大学(ネイル)

研修③ ヘアメイク(MOTOKO)

ハリウッド観光
Naimies(美容用品ショップ)

自由行動
(ディズニーランド)

LA発 成田着

ビューティアーティスト科・美容科・美容師科がLos Angelesで研修旅行

ビューティアーティスト科から始まったこのロサンゼルス研修も3回目となり、今年度から、美容科・美容師科にも参加機会を拡大し、令和7年1月22日から5泊7日のスケジュールで、ヘア・メイク・ネイル等の技術をエンターテインメントの本場LAハリウッドにて学んで来ました。山火事の影響が心配される中ではありましたが、現地からの正しい情報を元に安全を確認した上で催行しました。今回が初となる『フラートン大学(コミュニティcollege)』との技術交流が実現し、同世代のコスメトロジーを目指す現地学生との間に、言葉の壁を越えた絆が生まれました。



【研修スケジュール】

羽田発 ロンドン着

市内観光
ビッグベン、大英博物館など

研修① SASSOON(1日目)

研修② SASSOON(2日目)

研修③ SANRIZZ
PM自由行動

自由行動

AM自由行動 ロンドン発羽田着

理容科・美容科・美容師科、第48回ヨーロッパ研修旅行

理容科・美容科の1・2年生、美容師科の2・3年生の総勢38名が令和7年2月13日から2月21日の期間、それぞれ7日間2グループ編成でイギリス・ロンドンにて研修旅行を実施いたしました。研修先の『SASSOON Academy』と『SANRIZZ Academy』では、技術理論の講義からデモンストレーションに始まり、講師指導の元、現地モデルをシャンプー、カット、スタイリングまで行い、アジア人とは違う髪質に慣れない状況ではありましたが、骨格等を意識したカウンセリングを行うなど、貴重な体験をすることができました。ロンドン市内の観光では、世界遺産を訪れネットで見ている景色と現地に行き見てみるものの価値を感じることができました。今後の学生生徒にとって大変有意義なものとなりました。



【研修スケジュール】

羽田発 ニース着

エステ研修1日目

エステ研修2日目

自由行動(エズ村・モナコ)

自由行動(カンヌ)

ニース発 羽田着

ビジネス美容科、フランスニースで研修旅行

ビジネス美容科1・2年生対象の研修旅行が令和7年1月21日から1月28日までの8日間のスケジュールで、フランスニースにて研修が実施されました。『エレガンスパスクール』では、現地学生からの施術を受け、日本と異なるトリートメントに感動していました。年齢層に幅のある現地の学生とも上手にコミュニケーションが取れ、お別れの際には名残惜しい雰囲気になりました。自由行動ではモナコやカンヌを訪れ、文化等の違いにも触れることができて現地の良さを感じるとともに、日本の良さを再認識することになりました。



同窓会発足70周年記念 大同窓会

開催日: 令和7年6月16日(17時開会予定)

場 所: アートホテル日暮里ラングウッド

※校友会事務局に住所名簿がある方には
近日中に招待状を送付いたします。



教職員一同も、楽しみにしています!

学校法人国際共立学園は、1955年に国際高等理容学校の創立から、来年(2025年)で70周年を迎えます。本同窓会(校友会・KBF)は第1期生の卒業年(1956年)に発足いたしました。以来、様々な情報提供やイベント企画運営等、卒業生に有益な環境づくりに努めてまいりました。2025年度中(2026年)に同窓会発足70周年を迎えることから、2025年6月16日に“70周年記念大同窓会”を開催することを決定いたしました。「当時の担任の先生に会いたい」「久しぶりに同級生と集まりたい」「お世話になった先輩に感謝を伝えたい」等、多くの卒業生に気軽に集まって貰えるような環境を作ってまいりますので、お誘いあわせの上、是非ご参加いただけますと幸いです。

KBF賛助会員募集中!

KBFの賛助会員として、国際共立学園及び校友会の発展を応援しませんか?

◆ 賛助会員になると

- 『学園会報誌ひぐらし』を年2回お届けいたします。
- KBFセミナーなどのイベントにご招待いたします。
- ひぐらし紙面上にお名前を掲載させていただきます。



KBF賛助会員加入ご希望の方は
左記のQRコードよりお申し込みください。

令和6年度賛助会員一覧(卒年順・50音順・敬称略)

二本木 修	昭和59年理容科	埼玉県/有限会社OSA
立花 正雄	昭和61年美容科	埼玉県/有限会社エアー
大野(前田) 美和	平成6年美容科	千葉県/美し処江戸びりか
大枝(渡部) 純子	平成9年美容科	茨城県/サロンドナチュレ
藤原 正成	平成12年理容科	埼玉県/B'BROS
石川 真樹	平成12年美容科II部	埼玉県/合同会社アイティス
石鍋 寿仁	平成12年美容科II部	東京都/tip tap
中野 正貴	平成12年美容科II部	秋田県/自営業
村田(藤枝) 絵美	平成12年美容科II部	茨城県/EGO
金村 聡一郎	平成19年理容科	千葉県/verite
杏川 謙一	平成19年理容科	千葉県/BARBER SHOP MA-II
由井 宏幸	平成19年理容科	千葉県/SIIIK-Barber New Standard
大島 彩沙	平成22年美容科	埼玉県/nailonre
後藤 太一	平成26年美容高等科	茨城県/株式会社idea
加納 大和	令和5年高等専修美容師科	東京都/grow渋谷

後援会だより

会員研修会を開催



令和6年11月26日に、国際理容美容専門学校新館8階にて会員研修会が開催されました。

今回の研修会は、自身も美容学校を卒業し美容師を経験した後に異業種へ転職された、株式会社モンテカンボの山野雅史氏を講師にお招きし、『ヘアスタイリスト定着セミナー』と題して、共通のサロン課題でもあるスタッフの定着率について講義をしていただきました。

【自分のできること】×【会社でやるべきこと】×【じぶんのやりたいこと】この3つが定着の定義とし、他のサロンの方々とディスカッションをしながら、有意義な研修会が実施できました。来年度も様々な研修会を企画実施していきますので、多くの会員の皆様の参加をお待ちしております。

[写真:研修会の様子]



国際理容美容専門学校 育友会だより

授業見学会・懇談会を開催

令和7年1月25日に育友会主催の授業見学会を開催致しました。

今年は学校が授業公開日を年に数回設定し、今まで以上に保護者の方が授業を見学できる機会が増えました。育友会としては、時期を年明け1月末に設定し、2月上旬に控えている理容師美容師

国家試験に向けて、真剣に授業に取り組む様子を見て頂こうと考え実施いたしました。

【参加保護者感想】右も左も分からなかった子供がシャンプーの実習まで漕ぎつけて、真剣に取り組んでいる姿に成長を感じました。2年という短い時間ですが、目標、夢に向かって頑張ってほしいと願うばかりです。試験課題を興味深く見学させてもらいました。

インフルエンザ予防接種費用助成

提携産業医による、インフルエンザ予防接種に対する助成を行いました。今年度の実施人数は学校での接種者44名、個人接種者6名、計50名(職員含む)でした。

国際共立学園高等専修学校 育友会だより

授業参観を開催

令和6年10月12日、高等専修学校育友会主催で授業参観を開催しました。

当日は育友会役員メンバーで受付などの運営を行い、在校生ご家族80組と多くの保護者の方に授業の様子をご参観いただきました。

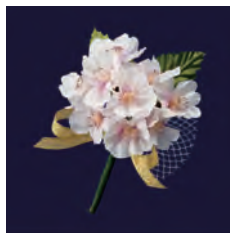
美容師科は3学年ともカットの授業で、様々なカット技術やレベルの違いを見ることができました。また製菓衛生師・調理師科は3学年合同技術大会を見学していただき、技術の様子だけでなく先輩後輩のコミュニケーションもご覧いただくことができました。今後も定期的な授業参加をさせていただき、学校、生徒、保護者の間で風通しの良い環境を作り上げていきます。

インフルエンザ予防接種費用助成

提携産業医による、インフルエンザ予防接種に対する助成を行いました。今年度の実施人数は両科合わせて46名(生徒のみ)でした。

桜のコサージュを制作しました

令和7年3月に行わる卒業式に向けて、3年生への卒業祝いとして、胸につける桜のコサージュを育友会から用意しました。桜の花言葉には「優れた教育」という意味もあります。夢実現の為に家族と共に歩んできた3年間、学んだことを活かしそれぞれの道で大きな花を咲かせてほしいとの育友会からの願いを込めて制作しました。



学園の入学金免除制度をぜひご活用ください！

右記の条件を満たすと入学金免除制度の対象となります。ぜひご活用ください！

免除制度	同窓会(KBF)会員血縁者	後援会会員紹介者
対象学科	通信課程を除く全学科	通信課程を除く全学科
条 件	卒業生の三親等以内の血縁者及び卒業生の配偶者	本学園後援会会員の紹介者
免除額	10万円(全額)	5万円(1/2)

※ 詳細は学園事務局までお問い合わせください。TEL03-3803-6696

校友会(KBF)だより

KBFセミナーを開催

令和6年12月5日に新館8Fにて、メイクアップアーティストのSusumu Kayaki講師をお招きし、メイクアップのセミナーを行いました。当日は一部二部合わせて計128名の学生生徒にご参加いただきました。

今回も前回と同様内容を二部制にし、第一部ではクリエイティブメイクデモンストレーションで技術解説を行いながら2名のモデルを華やかに仕上げていきました。第二部ではこちらも前回好評だったセルフメイク講座を開催し、限定30名の学生生徒が参加しました。普段使用しているメイク道具でのセルフメイクをKayaki講師に指導していただき、直接プロのアドバイスやワンポイントメイクをしてもらうこと貴重な機会に参加者は喜んでおりました。今回は男性の参加もあったことから、次回はまた新しい試みをしていこうと考えています。



[写真:セミナーの様子]

匠すつで会長賞を授与

令和6年12月16日に校内技術コンクール『匠すつとvol20』が開催され、KBF役員から立花会長と三代副会長が審査に参加してまいりました。

学生生徒たちの若く素晴らしい感性に、現役の業界人でもある役員メンバーも大いに刺激を受けてきました。

各部門に『KBF賞』として副賞を提供したに加え、トータルコーディネート部門(2種目)では『KBF会長賞』を授与していただきました。

次年度はどのような新しい感性と出会えるのか楽しみです。

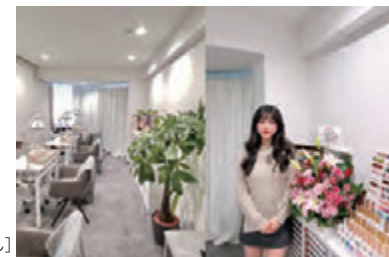


[写真:KBF会長賞の作品 (左)クリエイティブ部門 (右)サロンスタイル部門]

同窓生から嬉しい報告が届きました

KOKUSAIの同窓生から嬉しい報告が届きました。令和5年度にビューティーアーティスト科を卒業した俞 萍萍(ユ ピンピン)さんが令和6年12月にネイルサロン『Ugirl Nail Salon』を東京渋谷にオープンしたとの連絡があり、KBFから祝い花を送らせていただきました。

卒業後間もない独立開業ですが、在学中からしっかりと準備をしてきた成果だと思います。あめでございます！



[写真:サロンと俞さん]

INFORMATION

～ 着付を学びたい人、大募集!! ～

これから着付を学びたいと思っているそこのあなた。基礎から着付を学んでみませんか？本学園卒業生を対象に、着付の基礎から中振袖までの講習を実施いたします。ボディや衣装は学校で貸し出しをいたします。(小物類は各自で用意)来年の成人式に携われるように、一緒に学びましょう。ご希望の方は、まずはQRコードよりご連絡ください。改めて日程等詳細をお送りし、正式なお申し込みとなります。

※QRコードからお問い合わせいただいた方には詳細をお送りいたします。

※お申し込み必切は4月11日となります。

時 期: 5月～12月の火曜日(一部月曜日開催あり)

回 数: 全20回(3時間/1回)

受講料: 150,000円

内 容: ①街着・二重太鼓 ②中振袖・帯結び

定 員: 10名(開講最低人数5名)

持 物: レンタル代込(衣装・ボディ)

小物は自己負担となります(学校での購入可)。





国際
理容美容
専門学校
公式HP



国際
理容美容
専門学校
Instagram



国際共立学園
校友会KBF
公式HP



国際共立
学園高等
専修学校
公式HP



国際共立
学園高等
専修学校
Instagram



国際共立学園
校友会KBF
公式LINE



学園報ひぐらしに対するご意見・ご感想などは
左記QRコードの「ご意見受付フォーム」より
お願い致します。



住所変更申請は
こちらから



ひぐらし定期発送（賛助会員加入）
ご希望の方はこちらから

学校法人国際共立学園 学園報 ひぐらし

発行所：学校法人 国際共立学園

発行責任者：和田 美義

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里5-17-12

TEL：03-3803-6696(代表)

協賛：国際共立学園後援会・育友会・校友会(KBF)

編集担当：KBFひぐらし編集部